

第1回次期総合振興計画（区の将来像）に係る西区検討懇話会 議事要旨

開催日時：2018年11月30日（金）14：00～16：00

開催会場：さいたま市西区役所 1階多目的室

出席者（懇話会委員）：

指扇地区囃子保存会 会長	池谷 勝則 氏
馬宮地区社会福祉協議会 会長	岡田 悟 氏
青少年育成さいたま市民会議西区連絡会 会長	加藤 正晴 氏
内野地区自治会連合会 会長	神田 寛 氏
馬宮地区自治会連合会 会長	木下 國臣 氏
西区老人クラブ連合会 会長	清宮 健夫 氏
西区民生委員児童委員協議会 会長	久保木 央 氏（職務代理）
植水地区自治会連合会 会長	島田 正次 氏（座長）
指扇地区自治会連合会 会長	寺島 篤 氏
さいたま市花いっぱい運動推進会西区支部 支部長	引間 成子 氏
西区スポーツ振興会 会長	深谷 隆 氏
指扇商工振興連合会 会長	細田 富夫 氏
さいたま農業協同組合 理事	望月 三枝子 氏

（事務局：さいたま市）：

西区役所：岡村区長／奥山副区長／横田区民生活部長／島村参事兼総務課長

都市経営戦略部：篠葉参与

欠席者（懇話会委員）：

さいたま市PTA協議会西区連合会 会長 南 彰男 氏

議題及び公開又は非公開：（議題）西区における「課題」と「将来への期待」について
西区の将来像・まちづくりのポイントについて
西区の将来像の見直しについて

（公開又は非公開の別）公開

傍聴者の数：0人

審議した内容：議題のとおり

問合せ先：西区役所 区民生活部 総務課 電話番号 048-620-2613

1 開会

2 挨拶

区長及び都市経営戦略部参与より、挨拶があった。

3 出席者紹介

委員及び事務局の紹介があった。

4 座長及び職務代理者の選出

委員の互選により、座長に島田委員を、座長の指定により職務代理者に久保木委員を選出した。

5 意見交換

- (1) 西区における「課題」と「将来への期待」について
- (2) 西区の将来像・まちづくりのポイントについて
- (3) 西区の将来像の見直しについて

各委員より、上記議題について、次のとおり意見及び感想を述べた。

・人口が増加する中であって、長期的な視点としてJR川越線の複線化を考えていかなくてはと思う。

・将来的に現役世代の人口減少が十分考えられる。その様になると市の税収の減少が考えられ、何を削って何を作っていくかは財政状況を加味しながら計画を作成する必要がある。上水道の民営化についても次期計画では変わってくるのではないかと思う。

・西大宮駅が出来てから多くの家が建ち、道路の行き来が大変になった。生活道路は、区を中心道路ということを考慮すべきではないかと思う。そういう基本になる道路というものは何らかの形で改善していかなくてはいけないと思う。

・コミュニティバスを私の地域に通そうと協議会を立ち上げたところだが、コミュニティバスが将来的には西区全体を循環し、皆の生活が便利になることが一番良いと思う。

・馬宮地区は約2/3が市街化調整区域であるが、都市化する部分と都市化が遅れる部分というように2つに分かれる地域になってしまうと思う。市街化調整区域を残すのか、削っていくのか、市街化調整区域の在り方などまちづくりの将来像が見えてこない。見えてこない地域をどう活性化するのも見えてこないと思う。特に右岸地域では少子高齢化が進み、

荒れた田畑で殺伐としてくる。そのような地域には、極端だが工業地域に指定して誘致する、という考え方も今後必要になると思う。「緑と水」とあり、緑地帯を宣伝しているがそれだけでよいのか。その中には公園化する、文化的な施設を作る、体育施設を作れば宿泊施設も作る必要もあるので、多くの人を呼び込む仕組みが出来ないかと思う。西区は文化の面で遅れている様に思う。文化的な行事を催す施設や大学が区内に無いので必要ではないか。市街化調整区域にそのような施設を誘致するのも手であると思う。

・南北に道を通すなどして交通網を充実させたい。駅に行くにも区役所に行くにも時間がかかるので、コミュニティバスでも通していただければと思う。西大宮駅南口を開発しているが道路が途中でストップしてしまう。ストレートに県道 2 号の方に抜けることができれば南北の通りも有効活用できると思う。

・南北にコミュニティバスを通すのは結構だが、道路の狭さが一番のネックになっている。将来を見据えると自分で運転することも難しくなり、若い人が手助けしてくれることも考えにくく、高齢化に備え公共交通網を重視する必要があると思う。農業は高齢化して後継者もなく心配しているが、少なくともいいから残していければと思う。西区では特徴的な農産物が無く、農産物のブランド化を試みたいと考えている。

・将来像ということになれば、将来的に区役所から北に商店街が出来ればと思っている。大きなスーパーができると、そのお客さんを相手にした商売ができるので、その様な商店で商店街ができないかと思っている。

・アルディージャがあるので、アルディージャを生かしたスポーツのまちを重点に考えられないか。また、西区には体育館が 1 つだけあるが地元の人が優先的に使用できるものではなく、地元の人が優先的に使用できる体育館や運動場があれば良いと思う。

・コミュニティバスについては、運行時間や運賃を改善すれば利用率が上がるのではないかと思う。また、農産物を置くことができ、他の地域からも人が来るよう魅力的な道の駅が作れないかと思う。

・コミュニティタクシーが本格運行したが、コミュニティタクシーの値段が課題となっており、高齢者分については社会福祉協議会で援助しているが、利用者が多いと自分の首を絞めることになり、他団体や他区も含め行政にも支援をお願いしているところだ。また、アクティブチケットの利用先が限られており自由に使えるようお願いしているところだ。指扇地区では公民館の老朽化対策や公民館への道路整備が課題となっており、新しい公民館や体育館を含めた複合施設を作っていただくとか、これから人口が 1 万人増えると言っている

中で旧態依然としているのではなく改善をお願いしたい。災害の分野では、増加している人口を収容できる施設が無く早急に整備いただきたい。

・昨年、民生委員で高齢者の実態調査を行ったが、40%が高齢者のみの世帯で、さらにその内28%が高齢者のみの世帯であった。市全体が17%であったので、西区は飛びぬけて高齢者が多い。最近の高齢者は身内との無縁化があり、地域での見守り・支えあいがこれまで以上に重要になっている。一方で、支えあいについては規模の小さい自治会には無理があり、地区社協という考え方など、社協のあり方の見直しが必要と考えている。先月、大田原市の社協を視察し、大田原市社協では12の地区ごとに支所を置いており、そこに専任の非常勤の職員を雇用している。このように今後活動を進めていくには無償ボランティアに頼るのではなく、有償化すべきと考えている。

・現在、公民館の管理は生涯学習振興課になっているが、地域による管理でも良いのではないかと思う。そのことにより地域がつながるのではないかと思う。また、公民館利用について、一人でホールを利用しているということがあったが、モラル・利用方法にも課題があると思う。

・ネット社会やキャッシュレス化に高齢者がどう対応していくか、次期計画には盛り込んでいただきたいと思う。また、公民館を含め公共施設のバリアフリー化を進めてほしいと思う。

・休耕地等、農地の有効活用が進むと良いと思う。私自身も農業機械の購入を検討しているがあと何十年使えるかと思うと躊躇する。学校や地域の団体に休耕地を利用できないかと思う。組織づくりなど音頭をとってもらうことも今後必要になってくると思う。

・中古の農機を団体に購入するなどしてはいかがか。

・上尾市では市が窓口となり休耕地を借りる仕組みがあるようだが、さいたま市では休耕地を利用する仕組みはあるのだろうか。

・学校で利用すると教科書にないことも学べ教育に良いと思う。

・今後、高齢化が進み介護を受ける人が増加し、さらに人手不足で介護職・医療職が不足するといわれ、家族に頼ることも難しくなる中で、どの様に介護を行っていくのか見えてこないで、その様な点を予測しながら将来計画を示していただけるとありがたい。

・お囃子の後継者づくりが必要である。伝統は守り育てていかななくてはいけないが、西区の

取組みは特にうらやましいと言われるほどで、区の実践に感謝している。

●西区の将来像・まちづくりのポイントについて

・防災の面から課題を言うと、消防車が入れない道がある。建築基準法に基づく2m後退をしないで家を建てたりすることがまかり通るなど、大きな点から直す必要がある。家を改築しセットバックした時に市に寄付しないと整備できない。旧大宮市時代に寄付していないからU字溝や道路を整備できない等の制度があるが、このような点は改善する必要がある。

・まちづくりのポイント1について、下水道の「普及」は「利用促進」ではないかと思う。

・地域福祉の実践において、社会福祉協議会との連携について記載すべきではないか。

・社会福祉協議会との連携の中で、情報の共有のため「行政と」の言葉も入れたい。

・地区をどのようなまちにしていくのかという仕分け、構想が無いと思う。まちを完全に白紙化した状態で、ここには道路を通したい、とすることが将来像につながると思う。何十年前に計画した道路を辞める、という話があったが計画したのであれば縮小しながらでも計画に沿って進めるべきであると思う。

●西区の将来像の見直しについて

・さいたま市は自転車が盛んで西区には自然があることから、自転車道のネットワークを作るということがあっても良いと思う。

・西大宮駅南側の区画整理の推進をお願いしたい。

・西区のキャッチフレーズとして、「水と緑と花」とあるが漠然としている。区のどこをポイントとして推していくのかを明確にする必要がある。

区長：ポイント5は、例えば「環境と共生したまちづくり」を「水と緑と花のまちづくり」に変えられるのではないか。

・商業や農業、文化において区の実践がどこにあるのかがぼやけているように思う。中心があるのであれば区も協力して場所づくり、ものづくりをしていければと思う。将来に向けて何かポイントが出来ていかなければ、ただ住んでいるまち、そのうち死んでいるまちになってしまうのではないか。

- ・市の計画と区の計画を合わせて夢のある姿を描ければと思う。

- ・ベッドタウンになってしまうと将来的には一斉に高齢化し、将来の夢も無くなってしまふ。造成事業が終了した後はどの様にまちづくりをしていくのか、ゴーストタウンになってからでは遅いので、あらかじめ検討を行っておくべきだろう。人を呼び込むためには区を中心となる施設を作るべきではないかと考えている。

- ・びん沼で野鳥観察やボートを浮かべたり、周遊道路を整備し公園化すれば地域が活性化するように考えられるので、その様な計画も考えていただきたい。

6 閉会